

[成果情報名] 低温要求時間が短いモモ早生品種「さくひめ」の樹体特性および果実特性  
[要約] モモ「さくひめ」は、無加温ハウスにおいて「日川白鳳」と同時期の6月上旬に収穫できる。樹勢はやや強く、核割れ果の発生は少ない。樹相が安定し、果実重が200g以上になると糖度が10度を超える傾向がある。

[キーワード] モモ、さくひめ、無加温ハウス、樹体特性、果実特性

[担当] 長崎県農林技術開発センター・果樹・茶研究部門・ビワ落葉果樹研究室

[連絡先] (代表) 0957-55-8740

[区分] 果樹

[分類] 指導

[作成年度] 2017年度

---

#### [背景・ねらい]

本県は温暖な気候を利用してハウスモモ栽培を行っているが、近年の温暖化の影響でハウス栽培に必要な低温遭遇時間が不足する年が散在し、ハウスビニールの被覆時期の決定に苦慮している。そこで農研機構果樹茶業研究部門で育成され、温暖化に対応した低温要求時間が短い「さくひめ」の樹体特性および果実特性を調査し、本県への適応性を明らかにする。

#### [成果の内容・特徴]

1. 樹勢はやや強く、花芽の着生は多く、花粉は有り、結実良好である(表1、表2)。
2. 果形は円形で玉揃いは良く、核割れ果が少ない(表1、表2、写真1)。
3. 開花期は3月上旬で日川白鳳より15日程度早く、収穫期は同時期の6月上旬である。生育日数は平均93日で日川白鳳より13日程度長い(表2)。
4. 果実重は約220gで糖度は約10度である(表2)。果実重と糖度の関係は正の相関関係があり、樹相が安定し果実重が200gになると糖度が10度を超える傾向がある(図1)。

#### [成果の活用面・留意点]

1. 本成果は長崎県農業技術開発センター果樹・茶研究部門(大村市鬼橋町)の無加温ハウスでの植栽樹を用いた結果であり、「さくひめ」、「日川白鳳」ともに6~7年生、反復は1樹である。各年2月5日に保温を開始し、開花期には毛ばたきで人工授粉を行った。
2. 本品種は国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹茶業研究部門が育成し、2017年2月に出願公表されている。来歴は、ブラジルから導入した低温要求時間の短い品種「Coral」と、日本の果実品質に優れた早生品種「ちよひめ」、「あかつき」などとの交雑により育成されている。育成地のつくば市における「さくひめ」の低温要求時間は555時間、日川白鳳は1176時間である(農研機構果樹茶業研究部門 研究成果)。
3. 本県の加温ハウスにおける自発休眠覚醒後の加温開始および収穫適期については調査中である。

[具体的データ]

表1 「さくひめ」および「日川白鳳」の樹体と果実特性（無加温ハウス）

品種	樹体特性					果実特性				
	樹勢	花芽の着生	花粉	果形	揃い	果皮			果肉色	核割
						地色	着色 <sup>z</sup>	裂果		
さくひめ	やや強	多	有	円	やや良	緑白	やや多	無	白	極少
日川白鳳	中	多	有	円	中	緑白～白	多	無	白	中

<sup>z</sup> 着色歩合および濃淡から判断

表2 「さくひめ」および「日川白鳳」の生育相と果実品質（無加温ハウス）

年産	生育相					結実		果実品質 <sup>v</sup>					
	開花期		収穫期		開花 - 収穫 (最盛)	日川白鳳との差	結実率 <sup>w</sup>	果実重	糖度	pH	果肉硬度	核割 (外観)	
	最盛 <sup>z</sup>	日川白鳳との差 <sup>y</sup>	最盛 <sup>x</sup>	日川白鳳との差									(%)
さくひめ	2016	3/ 3	-16	6/ 6	0	95	+16	94.5	224.8	10.1	4.01	2.8	-
	2017	3/ 5	-15	6/ 5	-5	92	+10	91.1	222.6	11.1	4.00	1.7	3.0 <sup>u</sup>
	平均	3/ 4	-16	6/ 6	-3	93	+13	92.8	223.7	10.6	4.0	2.3	3.0
日川白鳳	2016	3/19		6/ 6		79		88.5	225.0	11.9	4.53	2.6	-
	2017	3/20		6/10		82		85.1	221.3	11.8	4.50	1.1	11.5 <sup>u</sup>
	平均	3/20		6/ 8		81		86.8	223.2	11.9	4.5	1.9	11.5

<sup>z</sup> 全体の8割が開花した日

<sup>y</sup> 同年間の差

<sup>x</sup> 全体の5割を収穫した日

<sup>w</sup> 中果枝10枝における満開約20日後に花芽数に対する結実割合

<sup>v</sup> 調査果実数20果

<sup>u</sup> 調査果実数さくひめ198果、日川白鳳52果

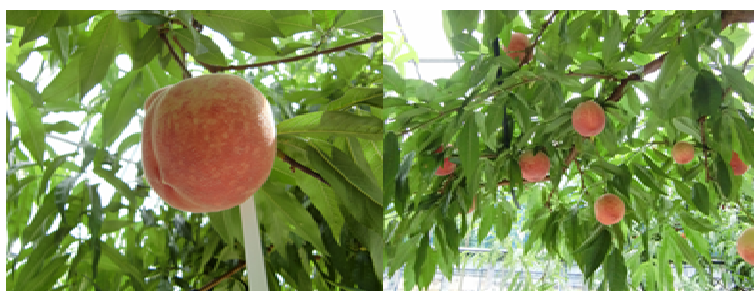


写真1 「さくひめ」の果実および着果状況

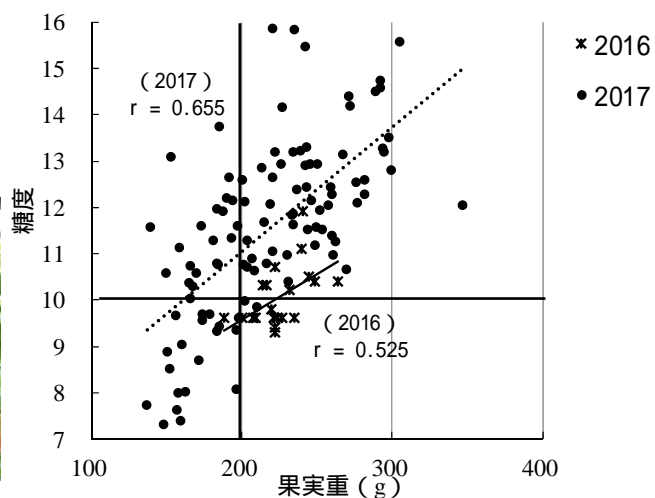


図1 「さくひめ」の果実重と糖度の関係（2016年産20果、2017年産100果）

[その他]

研究課題名：モモ有望品種「さくひめ（筑波127号）」のハウス栽培技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2017～2021年度

研究担当者：松本紀子